

| | | |
|--|--|-------------------------------------|
| 南古谷小学校 学校だより 令和 2 年 2 月 2 8 日 | <h1>なのばな 3月号</h1> <p>「南古谷小学校5つのじまん」 (あいさつ、ことば、なかよし、読書、歌声)</p> | 学校教育目標 かしこく ゆたかに たくましく |
|--|--|-------------------------------------|

感謝の気持ちをもって

◎「めざす学校像」

地域と共に生きる 信頼される学校

校長 森田 恵

今年度も残り1ヶ月となりました。先日は、最後の保護者会にご参会いただき、ありがとうございました。1年間の成長をご覧いただけただのではないかと思います。子供たちの真剣に学ぶ姿、できるようになったことを発表したり進級への抱負や将来の夢を語ったりする姿は輝いていました。自分自身の成長に喜びを感じ、自信を持てたことでしょう。子供たちの成長が見られたのも、保護者・地域の皆様のおかげと、感謝しております。また、役員の皆様には様々な活動等でお世話になり、ありがとうございました。

1年間のまとめとして、「感謝」の気持ちをあらわす取組を行っています。保護者会等で、保護者の方への想いを伝えたり、保護者の方からメッセージをいただいたりしました。読み聞かせの「お話の森」さんには、お礼の手紙を書きました。6年生は、学校への感謝をあらわす奉仕活動を行いました。

感謝の気持ちをあらわす「ありがとう」という言葉の由来は、「有る」ことが「難しい」ということです。当たり前ではなく、珍しくて貴重なことであり、ありがたいことなのです。「ありがとうの数」という詩に、以下の言葉があります。

ありがとうの数 田口久人
略
自分から何もしないで
与えてもらうことばかり考えない
自分から何もしなければ
何もやってこない
略
相手が喜ぶことは
何回でも何人にでも伝えればいい
ありがとうの数だけ
人生は豊かになる

何かをしてもらうことを待っていては、自分でできるようにはなりません。できることが増え成長できたのは、自分の努力とともに、周りの方の支えがあったからです。それは当たり前ではなく、ありがたいことです。感謝の気持ち「ありがとう」を持てば、自分も「ありがとう」と感謝されます。

職員始め子供たちも、自分たちを見守り支えてくださる方々への感謝の気持ちを大切にしたいと思えます。この1年間のまとめをしていきたいと思えます。今後ともご協力をお願いいたします。



南小じまん (未来の南古谷)

6年生の「町の未来をえがこう」という学習について紹介します。「このような南古谷の地域にしたい」という願いを込め、調べたことをもとにプレゼンテーションを行いました。「地域の人が集まってコミュニケーションがとれる公共施設があるといい」「特産品を生かした施設があるといい」「様々な遊びができる公園があるといい」「安全できれいな地域にしたい」等、素晴らしい提案をしていました。このことを南古谷の地域会議で話したところ、川越市の職員の方も称賛してくださいました。未来の町をつくるのは、次代を担う子供たちです。とても楽しみになりました。

※新型コロナウイルス感染症への対策の関係で、3月号は表面のみといたします。